

施策番号	0205		
施策名	女性に対するあらゆる暴力の根絶		
概要	社会問題化している配偶者等からの暴力（DV）の根絶に向けた啓発や自立支援とともに、女性に対する性的いやがらせなど、あらゆる暴力の根絶に向けた広報・啓発を強化する。		
担当局・部室	文化市民局・共生社会推進室	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関する主な分野別計画等	第4次京都市男女共同参画計画（きょうと男女共同参画推進プラン）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数(京都府)(件)	a	a	7,130	7,906	3,118	253.6%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
			客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	平成29年度	平成30年度	令和元年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。	c	c	19 2.8%	145 21.2%	277 40.5%	150 21.9%	93 13.6%	684	c
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
			市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					平成 30 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 施策の直接的な対象者は配偶者等からの暴力を受けた者に限られ、市民の生活実態に施策の効果が直接反映されにくい性質であるため、客観指標総合評価を重視する。						平成 29 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・普及啓発等により、DVやセクシュアル・ハラスメントが社会的に認知されてきていることから、被害の顕在化は進んでいるが、市民生活実感の「女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。」という実感を得るには至っておらず、昨年度に引き続きc評価となったと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		平成30年度 決算額	令和元年度 予算額		
1	DV対策事業	62,299	65,121	普通	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・ 支援を必要としている被害者だけでなく、広く市民にDVの基礎知識が浸透するよう、多様な手法で啓発活動を行っていく。

・ 第4次京都市男女共同参画計画（きょうと男女共同参画推進プラン）における京都市DV対策基本計画に基づき、若年層を対象とした啓発に重点的に取り組むなど、配偶者等からの暴力の根絶に向けた取組を総合的に推進する。

施策名	0205	女性に対するあらゆる暴力の根絶
-----	------	-----------------

指標名	配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数（京都府）（件）
-----	-------------------------------------

担当課	共生社会推進室	連絡先	222-3091
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

京都市DV相談支援センター及び京都府家庭支援総合センターにおける京都市域のDV（配偶者・交際相手等からの暴力）に関する関係機関との調整件数を含む対応件数

2 指標の意味

重大な人権侵害であるDVの救済に向けた貢献度を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課及び京都府家庭支援総合センター調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	7,130	7,906	776件増	3,118	令和2年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（*前年度目標値比73件増）	253.6%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		3,264件	令和2年度	242.2%	平成21年度実績(2,468件)を基準に、5年毎に15%増の目標値を設定。

備考	*{目標年次件数(3,264件)-H21年度実績(2,468件)}÷11年(H22~R2年度)
----	---

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a : 100%以上
b : 70%以上100%未満
c : 30%以上70%未満
d : 10%以上30%未満
e : 10%未満

6 基準説明

- ・目標値を達成すれば a 評価
- ・以下20~40%刻みで b ~ e 評価

7 評価結果

平成29	平成30	令和元
a	a	a